

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～27℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.4トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり121kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり3.6トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり657kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり222kgの水揚げ。五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり11kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり235kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり236kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/30～10/4の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、引き続き大和堆付近で操業。
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。
鳥取県西部（沖合船）4日延52隻、総計5,591箱、1航海最高700箱、平均107.5箱。
スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-29号 長崎県周辺海域の海面水温（10月号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>